

# 再生・細胞医療・遺伝子治療分野の情報発信

## ①実施概要

- 再生・細胞医療等の実用化に向けて、臨床研究支援・実用化のための技術的支援・人材教育の体制強化・マッチング支援・イベント開催等に取り組み、再生・細胞医療等に関する革新的な研究開発について、万博会場内外のいずれかのエリアで効果的な情報発信を行う。
- 具体的には、再生医療等実用化研究事業において支援している研究の成果等を踏まえた細胞加工物等に関する展示を行う。

（実施主体）民間団体等

（実施場所）会場内（メッセ、催事場又はFLE）

（実施期間）一部期間（テーマウィーク期間中等を予定）

## ②今後の実施方針

- 令和5年度は、再生・細胞医療・遺伝子治療分野の展示に関するノウハウの収集を行うとともに、大阪府、関係学会及び研究機関等と連携しながら展示のコンセプト等を検討する。

## ③予算

令和5年度概算決定額：2,712百万円

（関連事業「再生医療等実用化研究事業」の予算額）

<https://www.amed.go.jp/program/list/13/01/002.html>

令和5年度概算決定額：348百万円

（関連事業「再生医療等実用化基盤整備促進事業」の予算額）

<https://www.amed.go.jp/program/list/13/01/09.html>

## ④工程表



# 医療機器等における先進的研究開発・開発体制強靱化 事業の採択者による体験コーナー

## ①実施概要

福祉用具の開発事業で採択した製品の体験コーナー等を設置し、最新の福祉用具に触れ、その魅力を体感してもらう。

### ●自動運転による施設観覧（例1）

#### 具体的な取組内容

・自動運転機能を備えた電動車椅子を施設観覧に用いることで検討中



### ●排泄予測デバイスの体験（例2）

#### 具体的な取組内容

・超音波センサーで、膀胱の尿のたまり具合をとらえ、スマートデバイスなどにトイレのタイミング等を事前にお知らせする、高齢者向け排泄予測デバイスを子ども等にも活用できる。



（実施主体）未定

（実施場所）会場内（メッセ）

（実施期間）一部期間

## ②今後の実施方針

・関連施策との合同開催も視野に、体験コーナーの企画・検討を進める。

## ③予算

（医療機器等における先進的研究開発・開発体制強靱化業）

令和5年度概算決定額：3,990百万円の内数

※技術の改良・研究開発の予算であり、体験コーナー設置等については含まれない。

[https://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan\\_fy2023/pr/ip/sangi\\_16.pdf](https://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2023/pr/ip/sangi_16.pdf)

## ④工程表



# 日本の先進的な医薬品等の情報発信

## ①実施概要

- ・ 世界に先駆けて開発された日本の先進的な医薬品・医療機器等を展示し、我が国の医薬品・医療機器産業の研究開発力を世界に向けて効果的に情報発信していく。
- ・ あわせて、医療機器や再生医療等製品の海外展開が見込まれるものについて、日本発の国際規格の制定に向けた評価法の開発等を推進していく。



医療機器の展示イメージ図  
(出典) 2022国際医用画像総合展  
キャノンメディカルシステムズ

(実施主体) 厚生労働省・民間企業（予定）

(実施場所) 会場内（メッセ）

(実施期間) 一部期間（テーマウィーク期間中を予定）

## ②今後の実施方針

- ・ 大阪府をはじめとする地元関係機関や業界団体等と連携し、展示する製品や情報発信の方策について検討を行う。また、より効果的な情報発信を行うため、他の企画との連携を調整していく。
- ・ 併せて、大学、研究機関等に対し、国際標準制定に向けた評価法の開発等を推進する。

## ③予算

(医薬品等の情報発信関係)

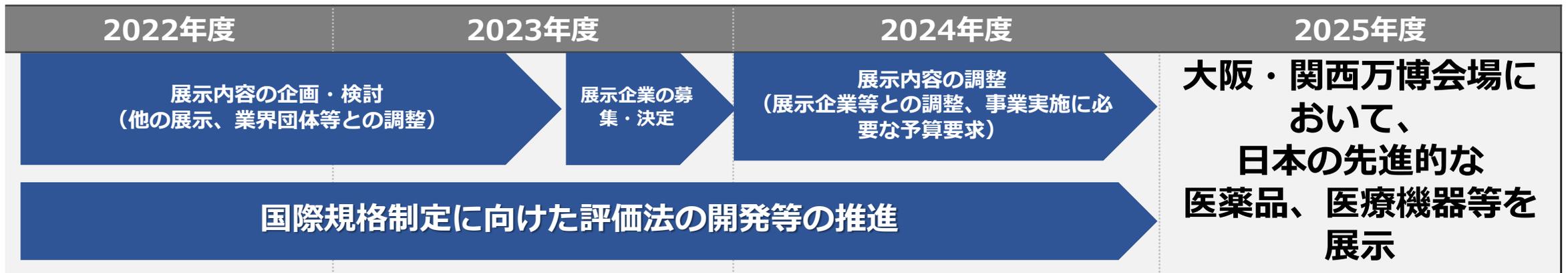
—

(国際規格関係)

革新的医療機器等国際標準獲得推進事業

令和5年度概算決定額：154百万円

## ④工程表



# 障害者自立支援機器等開発促進

## ①実施概要

- ・ 国立障害者リハビリテーションセンターでは、障害者の自立と社会参加の促進、QOLの向上に寄与することを目的に、障害者のニーズを的確に反映した支援機器及び支援技術の研究・開発活動を実施している。
- ・ こうした取組の成果を大阪・関西万博で展示・PRし、効果的な情報発信を行う。



脳からの信号を利用した生活環境機器操作を実現

(実施主体) 国立障害者リハビリテーションセンター

(実施場所) 会場内（メッセ、催事場又はFLE）

(実施期間) 一部期間（テーマウィーク期間中等を予定）

連絡先 厚生労働省社会援護局・障害保健福祉部企画課施設管理室  
03-3595-2455  
(<http://www.rehab.go.jp/ri/>)

## ②今後の実施方針

- ・ 大阪・関西万博で展示・PRを予定している支援機器及び支援技術について、研究・開発活動を継続する。
- ・ 効果的な情報発信に向けた展示内容の企画・検討を進める。

## ③予算

令和5年度概算決定額 142百万円

(関連経費「国立障害者リハビリテーションセンター運営事業」(研究所分)の予算額)の内数

## ④工程表



# 優良なアイデア・事業の審査への参画 (ヘルスケアビジネスコンテストの開催)

## ①実施概要

優れたヘルスケアスタートアップ企業を発掘し、ビジネスを加速するため、2016年より毎年実施。2025年は第10回目となる予定。（2022年11月時点で、過去の受賞企業のうち、6社がJ-Startup選定、2社が上場）

万博会場では、ヘルスケアウィーク等と連動し、期間内にビジネスコンテストの最終審査プレゼンを実施するとともに、過去の受賞者等によるサービス体験イベント等を検討。日本の優れたビジネスシーズを世界に発信し、国際展開の加速を狙う。

（実施主体）ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテスト運営事務局

（実施場所）会場内(具体的な施設は今後要検討)

（実施期間）一部期間



## ②今後の実施方針

博覧会協会と協議の上、今後の方針について検討

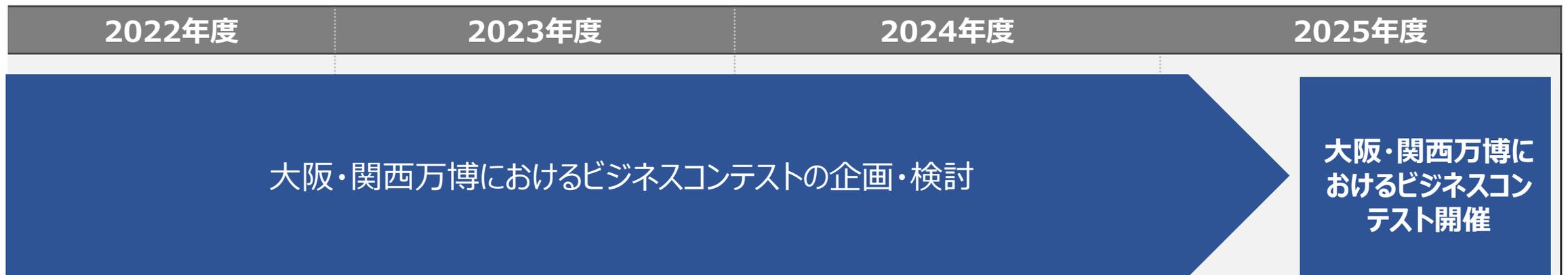
## ③予算

(ヘルスケア産業基盤高度化推進事業)

令和5年度概算決定額：880百万円の内数

<https://healthcare-innohub.go.jp/jhec2023>

## ④工程表



# Personal Health Record（PHR）を活用した万博体験

## ①実施概要

博覧会協会において企画しているPHR事業について、経済産業省としても必要なサポートを実施。具体的には、以下を検討する。

- ・会場におけるPHRを活用した体験の提供について、実施イメージに係る調査を行う。PHRを活用することで、個々人の健康状態に即してカスタマイズされたサービス体験が可能な状態を目指す。
- ・開催前（ex.チケット販売時）から、各事業者が提供するPHRサービスへのデータ入力を推奨。入力者に対しては、「EXPOポイント」と連携したインセンティブを用意。

（実施主体）未定

（実施場所）FLE（フューチャーライフエクスペリエンス）

（実施期間）一部期間

## ②今後の実施方針

- ・実証イメージを博覧会協会と連携して検討。

## ③予算

（ヘルスケア産業基盤高度化推進事業）

令和5年度概算決定額：880百万円の内数

[https://www.meti.go.jp/policy/mono\\_info\\_service/healthcare/phr.html](https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/phr.html)

## ④工程表



# 介護ロボット等テクノロジーの普及

## ①実施概要

・介護現場における、テクノロジーの活用によるサービスの質の向上や職員の負担軽減といった生産性向上の推進を図るため、介護ロボット等テクノロジーの普及に向けた支援を行っている。

・大阪・関西万博においては、上記の取組成果を踏まえ、介護ロボットの体験や現場の好事例紹介を行う展示ブースを設置するなど、介護ロボット等に関する効果的な情報発信を行う。

(実施主体) 厚生労働省

(実施場所) 会場内（メッセ、催事場又はFLE）

(実施期間) 一部期間（テーマウィーク期間中等を予定）



介護ロボットの活用により介護動作時の負担を軽減

## ②今後の実施方針

- ・現場のニーズにあった介護ロボット等の普及等の支援を行う。
- ・上記の取組による好事例の収集などを通じて、展示内容の企画・検討を進める。

## ③予算

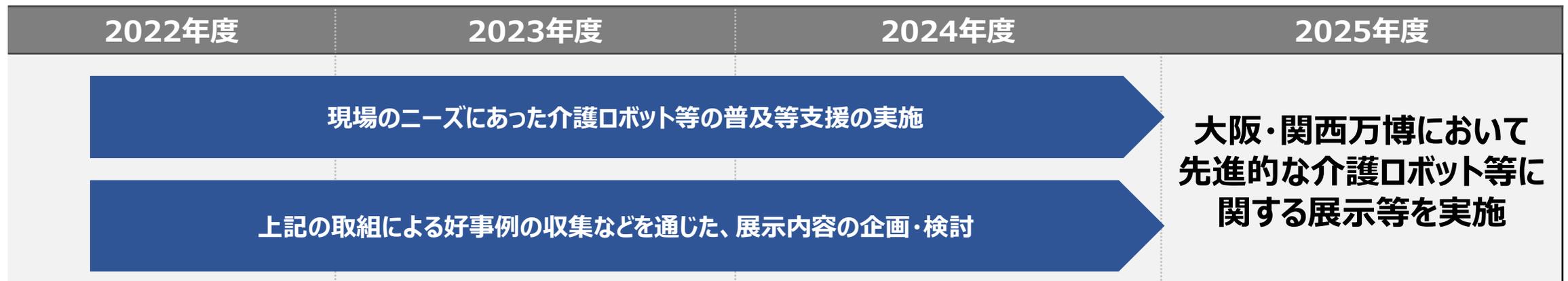
※ 関連事業「介護ロボット開発等加速化事業」の予算額

令和4年度第2次補正予算額：387百万円

令和5年度概算決定額：550百万円

[https://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/23syo\\_kanyosan/dl/01-07.pdf](https://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/23syo_kanyosan/dl/01-07.pdf)

## ④工程表



# スマート・ライフ・プロジェクト～健康寿命をのばそう！～

## ①実施概要

- 大阪・関西万博会場において、スマート・ライフ・プロジェクトを通じ、健康づくりに係る優れた取組を行う企業、団体、自治体の発表や、参画団体の交流や好事例の横展開を行うことで、万博を契機としたより一層の国民や企業の健康意識の向上を図る。
- また、5月31日の世界禁煙デーに始まる1週間を「禁煙週間」としており、万博会場において禁煙及び受動喫煙防止の普及啓発を行う。



## ②今後の実施方針

- 健康づくりに係る優れた取組について、どのような形で発表・紹介ができるかを、「健康寿命をのばそう！アワード」(\*)の受賞歴のある企業等も含め、検討・調整を行う。
- また、世界禁煙デー（禁煙週間含む）に合わせたブースの出展やイベントの開催などの検討を行う。

(\*) 企業・団体・自治体の優れた取組について大臣表彰等を行う

(実施主体) 厚生労働省、地方公共団体

(実施場所) 会場内（メッセ）

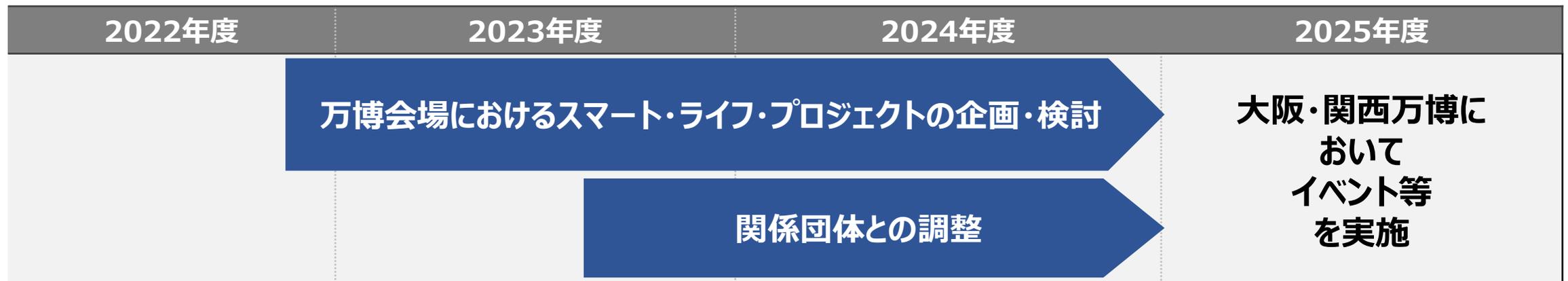
(実施期間) 一部期間（テーマウィーク期間中を想定）

## ③予算

令和5年度概算決定額：266百万円（関連経費「スマート・ライフ・プロジェクト推進事業費」及び「受動喫煙対策の普及啓発、相談対応経費」）の内数

(<https://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/23syokanyosan/dl/gaiyo-03.pdf>)

## ④工程表



# 認知症バリアフリーの取組推進

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/alzheimerday2022.html>

## ①実施概要

- ・ 認知症に対する正しい知識と理解を広め、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる「共生」社会の実現に向けたメッセージを発信する。
- ・ 具体的には、9月21日の「世界アルツハイマーデー」を含む「アルツハイマー月間（9月）」を中心に、諸外国の普及啓発イベントとのコラボ行事、会場全体のオレンジドレスアップ、認知症当事者トークイベント、関係学会の研究成果発表、認知症サポーター養成講座、認知症を正しく理解するための展示、こども向け認知症体験、など、様々な取組みを検討。
- ・ 令和元年に策定された「認知症施策推進大綱」の対象期間が2025年までとされていることも踏まえ、認知症の人（本人）や家族も参画し、産官学が一丸となって取り組む姿をアピールする。

（実施主体）公募（認知症施策の国際展開に知見のある団体を想定）

（実施場所）会場全体、催事場（ex国際会議）、ギャラリー（ex情報展示）

（実施期間）アルツハイマー月間（9月）を中心に全期間中

## ②今後の実施方針

- ・ 2023年5月：G7保健大臣会合における情報発信
- ・ 2023年9月：アルツハイマー月間における普及啓発
- ・ 2023年9月21日：世界アルツハイマーデー

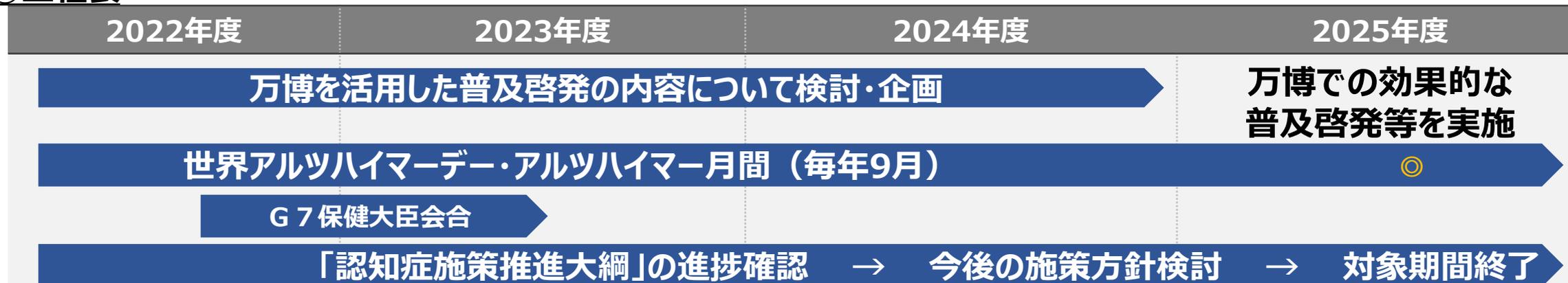
## ③予算

令和5年度概算決定額：40百万円  
（認知症普及啓発等事業）



オレンジドレスアップ（イメージ）

## ④工程表



# ユニバーサルヘルスカバレッジって大事だね！

## ①実施概要

- ・ 世界各国の開発目標である「持続可能な開発目標（SDGs）」のターゲットの1つとして「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）」の達成が位置づけられている。UHCの達成を通じて、全ての人々が基礎的な保健医療サービスが受けられ、必要な医療費を支払われることで、貧困に至るリスクを未然に防ぐことが重要であることが確認されている。
- ・ UHCの構成には、6つの要素（保健財政、サービス提供、保健人材、保健情報、医薬品・ワクチン・医療技術、リーダーシップ・ガバナンス）があり、各国においてこれらの要素を整備することが求められている。
- ・ 我が国が誇る国民皆保険などUHCの取組を世界に発信するため、UHCについて楽しく学べるイベントを関係団体と協力し会場内または外で開催する。（日英対応）

（実施主体） 委託事業者

（実施場所） 会場内または外を予定（イベント会場）

（実施期間） 会期中に1回実施



## ②今後の実施方針

- ・ WHOなどの関係機関との調整を行う

## ③予算

—

## ④工程表

